「自まんのお兄ちゃんだったのに・・・」

**僕には、じまんのおにいちゃんがいます。すごくサッカーが上手で、釣りも得意で、僕といつもいっしょに遊んでくれます。そして、僕が宿題でこまっているときは、とてもわかりやすく教えてくれます。**

**そんなじまんのおにいちゃんが、スマートフォンをお母さんにおねだりしていました。もちろん「オンラインゲーム」をしたいからです。**

**最初、お母さんは、毎月お金もかかるものだしと反対していました。でも、おにいちゃんは「みんなもってるんだよ」「自分だけ仲間に入れないよ」と毎日のように言い続けました。**

**そして、お年玉ではらうからといって、とうとうお兄ちゃんは、スマホを手に入れたのです！　それは、もう大喜びでした。そして、すぐに、オンラインゲームに夢中になりました。**

**何日かして・・・**

**母「ちょっとお手伝いしてもらいたいんだけど・・・・・」**

**兄「もうすぐ敵のボスをたおせるんだ。今やめられない。一緒にプレイしている友達にも悪いし・・・・」**

**・・・・・**

**父「部屋にこもってばかりいないで、リビングにこないか？」**

**兄「ボイスチャットをしているから、家族のいるところではやりたくないよ・・・・」**

**・・・・・**

**僕「お兄ちゃん、お風呂あいたよー。お湯さめるから入って〜！」**

**兄「無理。今から友達とオンラインゲームの約束してるしー・・・・」**

**・・・・・**

**父「いい天気だし、釣りに出かけないか〜」**

**兄「家でゲームしとく〜」**

**・・・・・**

**母「もう起きる時間よ！ゲームばっかりしているから寝不足になるんでしょ‼」**

**兄「わかってるよ。うるさいなぁ。」**

**・・・・・**

**お兄ちゃんのスマホの使い方をめぐって、みんなふきげんになることが多くなってきました。**

道徳（小学校中学年向け想定・読み物教材）　節度・節制

**自まんのお兄ちゃんだったのに・・・・僕とも遊んでくれなくなってしまったのです。**

**それから一週間ほどして、父と母のイライラが爆発し、「スマートフォンをやめさせる！とりあげる！」と言い出したのです。でも、お兄ちゃんは、「イヤだ！勝手にそんなこと決めないで！」と反発しました。**

**父と母は「だったら、ちゃんとした使用ルールを決めようじゃないか」というと、お兄ちゃんは、「スマホの使用ルールかぁ・・・・」とつぶやいたのです。乗り気ではなかったのですが、自分が「のめり込みすぎた」ことはわかっていたようです。**

**兄「わかったよ。どんなルールにすればいい・・・？」**

**父と母「これから話し合いましょう。使用時間・場所・お金・交流相手・・・決めないといけないことはたくさんあるね・・・」**

**こうして、父と母と兄、ぼくも参加して、我が家のルールを決めていくことになりました。**

**そのときぼくは、じまんのお兄ちゃんにもどってほしいなと思いました。**

「読み物」のあとの展開案

【お兄ちゃんへのスマホの使用ルールを提案しよう】

（グループワークにて、使用ルールの提案をする）

ボードに書く　もしくは　黒板に列挙する・・・・

【想定される発問】

なぜ、使用ルールが必要なのでしょうか？

そのルールに決めた理由をかんがえましょう。

もしも、そのルールをやぶってしまったら、どうなりますか？

どうして、ルールをやぶってしまうのでしょうか？

どうすれば、ルールを守ることができますか？

学級でルールを決めるとしたら、どういった「学級ルール」があればいいとおもいますか？（最終的に３つ程度をチョイスする）

【事前アンケート】（実施しておくことが望ましい）

（１）ゲームをする・テレビをみる、スマホやタブレット等に関して、「我が家のルール」はありますか？

・ない

・ある（自分に対して、兄弟姉妹に対して）

どんなルールですか？

（ ）

（ ）

（ ）

【ルールがある場合】

それは守れていますか？

 （　守れている・たまにやぶることもある・守れていない　 ）

守らないとどうなりますか？

 （ ）